

# 2004年 大会記録

## 国際

### ◇プレ五輪大会＝女子（1月23～25日、ギリシャ・アテネ）

▼48kg級 伊調千春（中京女大）＝優勝、▼51kg級 服部担子（中京女大）＝2位、▼55kg級 関根ゆう（大東大）＝9位、▼59kg級 岩間怜那（リプレ）＝2位、▼63kg級 坂本襟（リプレ）＝9位、▼67kg級 斉藤紀江（ジャパンビバレッジ）＝3位、▼72kg級 浜口京子（ジャパンビバレッジ）＝優勝

### ◇ショープ女子国際大会（1月31日～2月1日、フランス・トゥルコアン）

《ジュニア・シニア》▼48kg級 本田美幸（熊本・熊本ク）＝2失、船津友里（東洋大）＝一棄、▼51kg級 前原愛（愛知・中京女大付高）＝3位、鈴木七恵（栃木・足利工大付高）＝2位、▼55kg級 柴田瑞穂（愛知・中京女大付高）＝9位、▼63kg級 中田絵里子（京都・立命館宇治高）＝5位、

《カデット》▼43kg級 内田奈美（埼玉・東洋大倶楽部）＝5位、▼46kg級 河村友海（愛知・中京女大付高）＝優勝、▼49kg級 山内佳子（青森・青森商高）＝2位、川野奈美（千葉・小玉ジュニア）＝4位、▼52kg級 伊藤純子（三重・四日市ジュニア）＝3位、渡辺悠香（福島・田島町チビッ子）＝2位、▼56kg級 阿部友香（秋田・本荘ラッシュサンズ）＝5位、▼60kg級 梶田瑞華（愛知・中京女大）＝2位、高山真梨恵（栃木・足利工大付高）＝8位、▼65kg級 鈴木博恵（京都・立命館宇治高）＝優勝、

### ◇アテネ五輪第2次予選第1戦＝男子フリースタイル（1月31日～2月1日、スロバキア・ブラティスラバ）

▼60kg級 山本英典（自衛隊）＝16位、▼84kg級 横山秀和（秋田・秋田商高教）＝2位、▼96kg級 小平清貴（警視庁）＝6位、▼120kg級 田中章仁（専大）＝14位、

### ◇デーブ・シュルツ国際大会（2月7～8日、米国・コロラドスプリングス）

《男子フリースタイル》▼55kg級 清水聖志人（日体大）＝8位、▼60kg級 小島豪臣（日体大）＝予選リーグ敗退、▼66kg級 佐藤吏（早大）＝7位、鈴木崇之（立命館大）＝8位、▼74kg級 長島和幸（早大）＝予選リーグ敗退、▼84kg級 磯川孝生（拓大）＝予選リーグ敗退、▼96kg級 森山政秀（日体大）＝6位

《男子グレコローマン》▼55kg級 村上文清（拓大）＝3位、▼60kg級 庄司優亮（拓

大) = 予選リーグ敗退、▼74kg 級 永田克彦 (新日本プロレス職) = 4 位、加納篤 (岐阜県協会) = 5 位、子川亮介 (日体大) = 6 位、▼84kg 級 鶴巻宰 (国士大) = 予選リーグ敗退、山本悟 (日体大) = 予選リーグ敗退、▼96kg 級 前島信彦 (拓大) = 予選リーグ敗退、▼120kg 級 沢田直樹 (拓大) = 6 位

◇アテネ五輪第 2 次予選第 2 戦 = 男子フリースタイル (2 月 14~15 日、ブルガリア・

ソフィア)

▼60kg 級 井上謙二 (自衛隊) = 優勝、▼96kg 級 小平清貴 (警視庁) = 8 位、▼120kg 級 田中章仁 (専大) = 9 位

◇アテネ五輪第 2 次予選第 1 戦 = 男子グレコローマン (2 月 28~29 日、セルビアモン

テネグロ・ノビスアド)

▼55kg 級 豊田雅俊 (警視庁) = 9 位、▼60kg 級 笹本睦 (総合警備保障) = 優勝、▼66kg 級 飯室雅規 (自衛隊) = 11 位、▼84kg 級 松本慎吾 (一宮運輸) = 14 位、▼96kg 級 加藤賢一 (自衛隊) = 24 位、▼120kg 級 鈴木克彰 (警視庁) = 22 位

◇ヤシャドク国際大会 = 男子フリースタイル (3 月 12~14 日、トルコ・アンカラ)

▼55kg 級 田南部力 (警視庁) = 3 位、▼66kg 級 池松和彦 (日体大助手) = 3 位、▼74kg 級 小幡邦彦 (総合警備保障) = 予選リーグ敗退

◇アテネ五輪第 2 次予選第 2 戦 = 男子グレコローマン (3 月 14~15 日、ウズベキスタ

ン・タシュケント)

▼55kg 級 豊田雅俊 (警視庁) = 優勝、▼66kg 級 飯室雅規 (自衛隊) = 10 位、▼84kg 級 松本慎吾 (一宮運輸) = 3 位、▼96kg 級 加藤賢三 (自衛隊) = 11 位、▼120kg 級 鈴木克彰 (警視庁) = 9 位

◇アジア選手権 = 男子フリースタイル (4 月 16~18 日、イラン・テヘラン)

▼55kg 級 田南部力 (警視庁) = 棄権、▼60kg 級 小島豪臣 (日体大) = 7 位、▼66kg 級 池松和彦 (日体大助手) = 優勝、▼74kg 級 小幡邦彦 (総合警備保障) = 3 位、▼84kg 級 山本悟 (日体大) = 5 位、▼96kg 級 森山政秀 (日体大) = 6 位、▼120kg 級 杉浦一生 (山梨学院大) = 4 位

◇アジア選手権 = 男子グレコローマン (5 月 7~9 日、カザフスタン・アルマトイ)

▼55kg 級 村上文清 (自衛隊) = 棄権、▼60kg 級 伊藤光 (岡山県協会) = 8 位、▼66kg 級 伊是名正旭 (日体大OB) = 3 位、▼74kg 級 永田克彦 (新日本プロレス職) = 4 位、▼84kg 級 太田充洋 (日本文理大職) = 5 位、▼96kg 級 太田宣明 (自衛隊) = 5 位、

▼120kg 級 沢田直樹 (拓大 OB) 6 位

**◇アジア選手権＝女子 (5月22～23日、東京・青少年総合センター)**

▼48kg 級 伊調千春 (中京女大) = 優勝、▼51kg 級 甲斐友梨 (中京女大) = 2 位、▼55kg 級 吉田沙保里 (中京女大) = 優勝、▼59kg 級 山名慧 (愛知・中京女大付高) = 7 位、▼63kg 級 伊調馨 (中京女大) = 優勝、▼67kg 級 斉藤紀江 (ジャパンビバレッジ) = 優勝、▼72kg 級 浜口京子 (ジャパンビバレッジ) = 優勝、

**◇世界学生選手権 (6月3～6日、ポーランド・ウッジ)**

《男子フリースタイル》▼55kg 級 清水聖志人 (クリナップ=日体大OB) = 4 位、▼60kg 級 小島豪臣 (日体大) = 6 位、▼66kg 級 佐藤吏 (早大) = 10 位、▼74kg 級 長島和幸 (クリナップ=早大OB) = 3 位、▼84kg 級 磯川孝生 (拓大) = 6 位、▼96kg 級 森山政秀 (日体大) = 9 位、▼120kg 級 田中章仁 (専大) = 7 位

《男子グレコローマン》▼55kg 級 和田宗法 (日体大) = 7 位、▼60kg 級 庄司優亮 (拓大) = 10 位、▼66kg 級 江藤紀友 (拓大) = 10 位、▼74kg 級 子川亮介 (日体大) = 9 位、▼84kg 級 山本悟 (日体大) = 8 位、▼96kg 級 前島信彦 (拓大) = 12 位、▼120kg 級 沢田直樹 (拓大) = 6 位

《女子》▼48kg 級 世良桃子 (福岡大) = 優勝、▼51kg 級 守下紘美 (山梨学院大OG) = 6 位、▼55kg 級 関根ゆう (大東大) = 3 位、▼59kg 級 立本小百合 (中京女大) = 6 位、▼63kg 級 正田絢子 (東洋大) = 優勝、▼67kg 級 塚本真紀 (中京女大) = 6 位、72kg 級 村島文子 (中京女大) = 4 位

**◇マケドニア・パール国際大会＝男子フリースタイル (6月5～6日、マケドニア・スコピエ)**

▼55kg 級 田南部力 (警視庁) = 優勝、▼60kg 級 井上謙二 (自衛隊) = 棄権、▼66kg 級 池松和彦 (日体大助手) = 2 位、▼74kg 級 小幡邦彦 (総合警備保障) = 優勝、▼84kg 級 横山秀和 (秋田・秋田商高教) = 優勝

**◇ドイツ・グランプリ＝男子フリースタイル (6月12～13日、ドイツ・ライプチヒ)**

▼55kg 級 田南部力 (警視庁) = 優勝、▼60kg 級 井上謙二 (自衛隊) = 2 位、▼66kg 級 池松和彦 (日体大助手) = 2 位、▼74kg 級 小幡邦彦 (総合警備保障) = 2 位、▼84kg 級 横山秀和 (秋田・秋田商高教) = 予選リーグ敗退

**◇ドイツ・グランプリ＝男子グレコローマン (6月19～20日、ドイツ・ドルトムント)**

▼55kg 級 豊田雅俊（警視庁）＝ 6 位、▼60kg 級 笹本睦（総合警備保障）＝ 5 位、  
▼60kg 級 下村博（自衛隊）＝ 6 位、▼74kg 級 永田克彦（新日本プロレス職）＝ 6 位、  
▼84kg 級 松本慎吾（一宮運輸）＝ 4 位

**◇アジア・ジュニア選手権（6月17～20日、カザフスタン・アルマトイ）**

《男子フリースタイル》▼50kg 級 須藤輝（山形・山形商高）＝ 9 位、▼55kg 級 久  
安保史（日体大）＝ 2 位、▼60 kg級 湯元健一（日体大）＝ 3 位、▼66 kg級 佐藤吏（早  
大）＝ 2 位、▼74 kg級 尾崎秀典（群馬大）＝ 6 位、▼84 kg級 磯川孝生（拓大）＝ 5  
位、▼96 kg級 伊藤拓也（早大）＝ 4 位、▼120 kg級 黒川茂高（福岡大）＝棄権

《男子グレコローマン》▼50 kg級 長塚和仁（東洋大）＝ 7 位、▼55 kg級 倉本一真  
（滋賀・日野高）＝ 6 位、▼60 kg級 渡辺浩司（日体大）＝ 9 位、▼66 kg級 村瀬洸介  
（拓大）＝ 5 位、▼74 kg級 鶴巻宰（国士大）＝ 3 位、▼84 kg級 曾我部健（国士大）  
＝ 5 位、▼96 kg級 正木裕也（日体大）＝ 7 位、▼120 kg級 社藤哲也（日体大）＝ 6 位

《女子》▼44kg 級 進藤恵（堺女短大）＝優勝、▼48kg 級 船津友里（東洋大）＝優  
勝、▼51kg 級 鈴木七恵（栃木・足利工大附高）＝優勝、▼55kg 級 松川知華子（日大）  
＝優勝、▼59kg 級 山名慧（愛知・中京女大附高）＝優勝、▼63kg 級 中田絵里子（京都・  
立命館宇治高）＝優勝、▼67kg 級 松川絵里香（日大）＝ 3 位、▼72kg 級 田中希枝（愛  
知・中京女大附高）＝優勝、

**◇ハンガリー・グランプリ＝男子グレコローマン（6月26～27日、ハンガリー・ソン  
バセリー）**

▼55kg 級 豊田雅俊（警視庁）＝棄権、▼60kg 級 笹本睦（総合警備保障）＝予選リ  
ーグ敗退、▼60kg 級 下村博（自衛隊）＝予選リーグ敗退、▼74kg 級 永田克彦（新日  
本プロレス職）＝ 4 位、▼84kg 級 松本慎吾（一宮運輸）＝ 5 位

**◇カナダ・カップ（7月9～10日、カナダ・グエルフ）**

《男子フリースタイル》▼55kg 級 徳留旭（自衛隊）＝ 4 位、▼60kg 級 大館信也（国  
士館大ク）＝ 2 位、▼66kg 級 金淵清文（国士館大ク）＝ 2 位、▼74kg 級 長島和幸（ク  
リナップ）＝二失、▼84kg 級 柴田寛（徳山大ク）＝ 5 位

《女子》▼51kg 級 坂本日登美（和光ク）＝優勝、▼55kg 級 中西はつみ（中京女子  
大学院）＝ 2 位、▼59kg 級 渡邊小百合（自衛隊）＝ 3 位、▼63kg 級 正田絢子（東洋  
大 OG）＝優勝、▼67kg 級 坂本襟（リプレ）＝優勝

◇アジア・カデット選手権（8月5～8日、キルギス・ビシュケク）

《男子フリースタイル》▼42 kg級 高橋勇氣（千葉・木間ヶ瀬中）＝8位、▼46 kg級 水越智也（山梨・上野原中）＝7位、▼50kg 級＝出場なし、▼54kg 級＝出場なし、▼58 kg級 紋谷哲平（茨城・霞ヶ浦高）＝7位、▼63kg 級＝出場なし、▼69kg 級＝出場なし、▼76kg 級＝出場なし、▼85kg 級＝出場なし、▼100kg 級＝出場なし

《男子グレコローマン》▼42kg 級＝出場なし、▼46 kg級 牧瀬裕樹（埼玉・埼玉栄高）＝7位、▼50 kg級 田口敏生（大阪・大阪市立高）＝7位、▼54 kg級 渡辺翔太（愛媛・今治工高）＝8位、▼58 kg級 大野良治（静岡・焼津水産高）＝7位、▼63kg 級＝出場なし、▼69kg 級＝出場なし、▼76 kg級 松浦健之（愛媛・北条高）＝8位、▼85kg 級＝出場なし、▼100 kg級 松家達也（香川・高松北高）＝5位

《女子》▼38 kg級＝出場なし、▼40 kg級＝出場なし、▼43 kg級 三村冬子（網野ク）＝優勝、▼46 kg級 渡辺菜穂（埼玉・埼玉栄高）＝3位、▼49 kg級 鈴木幸子（栃木・みぶチビッコ）＝3位、▼52 kg級 渡部悠香（福島・田島高）＝3位、▼56 kg級 馬越真弓（京都・立命館宇治高）＝優勝、▼60 kg級 渡部沙織（福島・荒海中）＝6位、▼65 kg級 宇野杏奈（三重・四日市ジュニア）＝3位、▼70 kg級 榎本美希（三重・四日市四郷）＝優勝

◇アテネ五輪（8月22～29日、ギリシャ・アテネ）

《男子フリースタイル》▼55kg 級 田南部力（警視庁）＝3位、▼60kg 級 井上謙二（自衛隊）＝3位、▼66kg 級 池松和彦（日体大助手）＝5位、▼74kg 級 小幡邦彦（総合警備保障）＝12位、▼84kg 級 横山秀和（秋田・秋田商高教）＝10位

《男子グレコローマン》▼55kg 級 豊田雅俊（警視庁）＝10位、▼60kg 級 笹本睦（総合警備保障）＝5位、▼74kg 級 永田克彦（新日本プロレス職）＝16位、▼84kg 級 松本慎吾（一宮運輸）＝7位

《女子》▼48kg 級 伊調千春（中京女大）＝2位、▼55kg 級 吉田沙保里（中京女大）＝優勝、▼63kg 級 伊調馨（中京女大）＝優勝、▼72kg 級 浜口京子（ジャパンビバレッジ）＝3位

◇ワールドカップ＝女子（10月8～9日、東京・駒沢体育館）

優勝（5勝）

1回戦 日本○ [6 - 1] ●カナダ

2回戦 日本○ [5 - 2] ●米国

3回戦 日本○ [7-0] ●インド

4回戦 日本○ [6-1] ●ロシア

5回戦 日本○ [6-1] ●中国

《個人順位》▼48kg級 伊調千春(中京女大) = 2位、坂本真喜子(中京女大) = 5位、▼51kg級 坂本日登美(和光クラブ) = 優勝、服部担子(中京女大) = 6位、▼55kg級 吉田沙保里(中京女大) = 優勝、▼59kg級 山本聖子(ジャパンビバレッジ) = 3位、岩間怜那(リブレ) = 4位、▼63kg級 伊調馨(中京女大) = 優勝、中西はつみ(中京女大大学院) = 6位、▼67kg級 坂本襟(リブレ) = 5位、斉藤紀江(ジャパンビバレッジ) = 6位、▼72kg級 浜口京子(ジャパンビバレッジ) = 優勝、村島文子(中京女大) = 6位

◇アンリ・デグレーヌ国際大会=男子グレコローマン(11月27~28日、フランス・ニース)

ース)

▼60kg級 谷岡泰幸(自衛隊) = 9位、▼66kg級 綾田慎也(自衛隊) = 3位、▼74kg級 加納篤(岐阜・恵峰学園職) = 9位、▼74kg級 川向敦支(自衛隊) = 10位、▼84kg級 小向忍(自衛隊) = 一失

◇アジア・カップ=女子(11月29~30日、カザフスタン・アルマトイ)

2位(2勝1敗)

1回戦 日本● [3-4] ○中国

2回戦 日本○ [7-0] ●カザフスタン

3回戦 日本○ [6-1] ●モンゴル

《個人順位》▼48kg級 清水美里(ジャパンビバレッジ) = 3位、▼51kg級 服部担子(中京女大) = 優勝、▼55kg級 山本聖子(ジャパンビバレッジ) = 優勝、▼59kg級 岩間怜那(リブレ) = 2位、▼63kg級 伊調馨(中京女大) = 優勝、▼67kg級 斉藤紀江(ジャパンビバレッジ) = 2位、▼72kg級 二宮美紀(フェニックスジャパン) = 2位

国内

◇ジャパングイーンズカップ(2月23~24日、東京・駒沢体育館)

《優勝者》▼48kg級 坂本真喜子(愛知・中京女大附高)、▼51kg級 甲斐友梨(中京女大)、▼55kg級 吉田沙保里(中京女大)、▼59kg級 西牧未央(愛知・中京女大附高)、▼63kg級 伊調馨(中京女大)、▼67kg級 菅原美々(国士舘大)、▼72kg級 浜口京子(ジャパンビバレッジ)

**◇全国高校選抜大会（3月27～29日、新潟・新潟市体育館）**

《学校対抗戦》[1] 茨城・霞ヶ浦（2年連続14回目）、[2] 秋田・秋田商、[3] 青森・光星学院、埼玉・埼玉栄

《個人戦優勝者》▼50kg級 福留和寿（茨城・霞ヶ浦）、▼55kg級 倉本一真（滋賀・日野）、▼60kg級 大沢茂樹（茨城・霞ヶ浦）、▼66kg級 宮原崇（秋田・秋田商）、▼74kg級 大月葵斐（大分・日本文理大付）、▼84kg級 小林敏雄（長野・上田西）、▼96kg級 木暮僚太（茨城・霞ヶ浦）、▼120kg級 荒木田進謙（青森・光星学院）

**◇アジア女子選手権代表選考会（4月4日、東京・駒沢体育館）**

《優勝者》▼51kg級 甲斐友梨（中京女大）、▼59kg級 山名慧（愛知・中京女大付高）、▼67kg級 斉藤紀江（ジャパンビバレッジ）

※五輪実施の4階級は決定済み

**◇明治乳業杯全日本選抜選手権（4月12～13日、東京・駒沢体育館）**

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 杉谷武志（自衛隊）、▼60kg級 井上謙二（自衛隊）、▼66kg級 鈴木崇之（立命館大）、▼74kg級 工藤祐士（岡山・高松農高教）、▼84kg級 横山秀和（秋田・秋田商高教）、▼96kg級 小平清貴（警視庁）、▼120kg級 田中章仁（専大）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 安原隆（自衛隊）、▼60kg級 笹本睦（総合備保障）、▼66kg級 伊是名正旭（日体大OB）、▼74kg級 永田克彦（新日本プロレス職）、▼84kg級 松本慎吾（一宮運輸）、▼96kg級 太田宣明（自衛隊）、▼120kg級 鈴木克彰（警視庁）

《アテネ五輪代表決定プレーオフ勝者》▼男子グレコローマン 48kg級 豊田雅俊（警視庁）

**◇アテネ五輪女子代表決定プレーオフ（4月13日、東京・駒沢体育館）**

《勝者》▼48kg級 伊調千春（中京女大）

**◇JOC杯ジュニア・オリンピック（4月24～25日、神奈川・横浜文化体育館）**

《男子ジュニア・フリースタイル優勝者》▼50kg級 福留和寿（茨城・霞ヶ浦高）、▼55kg級 関口祐樹（山梨学院大）、▼60kg級 湯元健一（日体大）、▼66kg級 佐藤吏（早大）、▼74kg級 尾崎秀典（群馬大）、▼84kg級 磯川孝生（拓大）、▼96kg級

松本真也（日大）、▼120kg級 黒川茂高（福岡大）

《男子ジュニア・グレコローマン優勝者》▼50kg級 長塚和仁（東洋大）、▼55kg級 倉本一真（滋賀・日野高）、▼60kg級 渡辺浩司（日体大）、▼66kg級 村瀬洸介（拓大）、▼74kg級 鶴巻宰（国士大）、▼84kg級 曾我部健（国士大）、▼96kg級 正木裕也（日体大）、▼120kg級 社藤哲也（日体大）

《男子カデット・フリースタイル優勝者》▼42kg級 高橋勇氣（千葉・木間ヶ瀬中）、▼46kg級 水越智也（山梨・上野原中）、▼50kg級 入江淳史（栃木・足利工大付高）、▼54kg級 井堀絢介（大阪・同志社香里高）、▼58kg級 紋谷哲平（茨城・霞ヶ浦高）、▼63kg級 岡本佑士（静岡・飛竜高）、▼69kg級 佐々木浩明（青森・光星学院高）、▼76kg級 大月葵斐（大分・日本文理大付高）、▼85kg級 野口亮二（鹿児島・鹿屋中央高）、▼100kg級 竹内雄哉（茨城・霞ヶ浦高）

《男子カデット・グレコローマン優勝者》▼46kg級 牧瀬裕樹（埼玉・埼玉栄高）、▼50kg級 田口敏生（大阪・大阪市立高）、▼54kg級 渡辺翔太（愛媛・今治工高）、▼58kg級 大野良治（静岡・焼津水産高）、▼63kg級 井上智裕（兵庫・育英高）、▼69kg級 成瀬一彦（岐阜・中津商高）、▼76kg級 長谷川大輝（京都・立命館宇治高）、▼85kg級 原田潤（静岡・修善寺工高）、▼100kg級 松家達也（香川・高松北高）

《女子ジュニア優勝者》▼44kg級 進藤恵（堺女短大）、▼48kg級 船津友里（東洋大）、▼51kg級 鈴木七恵（栃木・足利工大付高）、▼55kg級 松川知華子（日大）、▼59kg級 山名慧（愛知・中京女大附高）、▼63kg級 中田絵理子（京都・立命館宇治高）、▼67kg級 松川絵里香（日大）、▼72kg級 田中希枝（愛知・中京女大付高）

《女子カデット優勝者》▼38kg級 堀内優（京都・網野教室）、▼40kg級 藤川千晶（埼玉・和光ク）、▼43kg級 三村冬子（京都・網野教室）、▼46kg級 鈴木綾乃（千葉・松戸ジュニア）、▼49kg級 鈴木幸子（栃木・みぶチビッコ）、▼52kg級 渡部悠香（福島・田島高）、▼56kg級 馬越真弓（京都・立命館宇治高）、▼60kg級 渡部沙織（福島・荒海中）、▼65kg級 鈴木博恵（京都・立命館宇治高）、▼70kg級 榎本美希（三重・四日市四郷高）

**◇東日本学生リーグ戦（5月11～14日、東京・駒沢体育館）**

《順位》[1] 日体大（5年ぶり23度目）、[2] 日大、[3] 山梨学院大、[4] 国士大、[5] 早大、[6] 専大、[7] 拓大、[8] 東洋大、[9] 中大、[10] 明大、[11] 大東大、[12] 青山学院大、[13] 群馬大、[14] 東農大、[15] 神奈川大、[16] 法大

**◇西日本学生春季リーグ戦（5月15～16日、大阪・大阪府立体育会館第2競技場）**

《順位》[1] 立命館大（6季連続8度目）、[2] 徳山大、[3] 福岡大、[4] 同志社大、[5] 日本文理大、[6] 中京学院大、[7] 近大、[8] 南九州大

**◇全国中学生選手権（6月12～13日、茨城県水戸市・茨城スポーツセンター）**

《男子優勝者》▼38kg級 岩渕尚紀（茨城・大島）、▼42kg級 小石原拓馬（京都・網野）、▼47kg級 田中幸太郎（京都・男山三）、▼53kg級 長尾明来士（大阪・吹田一）、▼59kg級 高谷惣亮（京都・網野）、▼66kg級 生天目達也（茨城・大島）、▼73kg級 松本岬（長崎・有明）、▼85kg級 松嶋広太（千葉・木間ヶ瀬）、▼110kg級 栗原大地（茨城・竹来）

《女子優勝者》▼40kg級 堀内優（京都・網野）、▼44kg級 三村冬子（京都・網野）、▼48kg級 鈴木幸子（栃木・雀宮）、▼52kg級 高木香耶（茨城・牛久南）、▼57kg級 小保内夏未（神奈川・市ヶ尾）、▼62kg級 佐藤文香（茨城・水戸四）、▼70kg級 宇野杏奈（三重・富洲原）

**◇東日本学生春季新人選手権（6月24～25日、東京・駒沢体育館）**

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 湯元進一（拓大）、▼60kg級 高塚紀行（日大）、▼66kg級 鈴木広明（青山学院大）、▼74kg級 種市吉寿（日体大）、▼84kg級 山県養一（日大）、▼96kg級 山口竜志（拓大）、▼120kg級 中村淳志（拓大）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 松本隆太郎（日体大）、▼60kg級 北岡秀王（日体大）、▼66kg級 鈴木広明（青山学院大）、▼74kg級 高橋海人（早大）、▼84kg級 斎川哲克（日体大）、▼96kg級 山口竜志（拓大）、▼120kg級 中村淳志（拓大）

**◇西日本学生選手権（7月2～4日、大阪・堺市金岡公園体育館）**

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 長尾武沙士（近大）、▼60kg級 藤永大吾（立命館大）、▼66kg級 鈴木崇之（立命館大）、▼74kg級 長谷川智人（立命館大）、▼84kg級 村上彰一（中京学院大）、▼96kg級 坂本憲蔵（日本文理大）、▼120kg級 孟和巴拉（中京学院大）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 上田吉輝（徳山大）、▼60kg級 西尾直之（同志社大）、▼66kg級 松本大樹（徳山大）、▼74kg級 磯部雄太（徳山大）、▼84kg級 安藤康弘（福岡大）、▼96kg級 吉田光志（福岡大）、▼120kg級 宮崎光弘（日本文理大）

**◇全日本社会人選手権（7月19～20日、埼玉・志木市民体育館）**

《団体戦優勝チーム》▼男子実業団 総合警備保障、▼男子クラブ 倉敷ク、▼女子 ジャパンビバレッジ

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 鈴木元泰（秋田県協会）、▼60kg級 大館信也（国士舘クラブ）、▼66kg級 金渕清文（国士舘クラブ）、▼74kg級 長島和幸（クリナップ）、▼84kg級 柴田寛（徳山大職）、▼96kg級 横山武典（倉敷クラブ）、▼120kg級 吉田清太郎（秋田市役所）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 藤田康人（日体大クラブ）、▼60kg級 平井進吾（総合警備保障）、▼66kg級 綾田慎也（自衛隊）、▼74kg級 川向敦支（自衛隊）、▼84kg級 加納篤（岐阜・恵峰学園教）、▼96kg級 ハイドゥー・ホラシュー（日体大クラブ）、▼120kg級 沢田直樹（徳山大）

《女子優勝者》▼48kg級 吉村祥子（TBC）、▼51kg級 鳥海智恵子（代々木クラブ）、▼55kg級 坂本日登美（和光クラブ）、▼59kg級 中西はつみ（中京女大大学院）、▼63kg級 正田絢子（東洋大）、▼67kg級 坂本襟（リプレ）、▼72kg級 斉藤紀江（ジャパンビバレッジ）

**◇インターハイ（8月2～5日、岡山・倉敷市水島緑地福田公園体育館）**

《学校対抗戦》[1] 茨城・霞ヶ浦（3年連続17度目）、[2] 青森・光星学院、[3] 京都・立命館宇治、鹿児島・鹿屋中央

《個人戦優勝者》▼50kg級 福留和寿（茨城・霞ヶ浦）、▼55kg級 紋谷哲平（茨城・霞ヶ浦）、▼60kg級 大沢茂樹（茨城・霞ヶ浦）、▼66kg級 宮原崇（秋田・秋田商）、▼74kg級 大月葵斐（大分・日本文理大付）、▼84kg級 小林敏雄（長野・上田西）、▼96kg級 木暮僚太（茨城・霞ヶ浦）、▼120kg級 荒木田進謙（青森・光星学院）

**◇全国高校生グレコローマン選手権（8月17～19日、大阪・堺市金岡公園体育館）**

《優勝者》▼50kg級 小俣将太（茨城・霞ヶ浦）、▼55kg級 倉本一真（滋賀・日野）、▼60kg級 米満達弘（山梨・韮崎工）、▼66kg級 井上智裕（兵庫・育英）、▼74kg級 奈良部嘉明（茨城・霞ヶ浦）、▼84kg級 那口裕洋（東京・自由ヶ丘学園）、▼96kg級 工藤真樹（秋田・秋田商）、▼120kg級 重留慎悟（鹿児島・樟南）

**◇全国高校女子選手権（8月17日、大阪・堺市金岡公園体育館）**

《優勝者》▼40kg 級 坂本友里恵（岩手・宮古商）、▼43kg 級 坂井のりこ（愛知・中京女大附）、▼46kg 級 河村友海（愛知・中京女大附）、▼50kg 級 鈴木七恵（栃木・足利工大附）、▼54kg 級 馬越真弓（京都・立命館宇治）、▼58kg 級 井上佳子（愛知・中京女大附）、▼63kg 級 梶田瑞華（愛知・中京女大附）、▼68kg 級 山名慧（愛知・中京女大附）、▼72kg 級 田中希枝（愛知・中京女大附）

◇西日本学生新人戦（8月27～29日、兵庫・葉葉鳴尾浜体育館）

《男子フリースタイル優勝者》▼55 kg級 川裕毅（日本文理大）、▼60 kg級 藤永大吾（立命館大）、▼66 kg級 宮田勇輝（徳山大）、▼74 kg級 東誠次（立命館大）、▼84 kg級 村上彰一（中京学院大）、▼96 kg級 孟和巴拉（中京学院大）、▼120 kg級 坂本憲蔵（日本文理大）

《男子グレコローマン優勝者》▼55 kg級 上田吉輝（徳山大）、▼60 kg級 城戸義貴（徳山大）、▼66kg 級 松本大樹（徳山大）、▼74 kg級 谷田光（立命館大）、▼84 kg 級 村上彰一（中京学院大）、▼96 kg級 坂本憲三（日本文理大）、▼120 kg級 孟和巴拉（中京学院大）

◇全日本学生選手権（9月17～20日、福岡・アクション福岡）

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg 級 斎藤将士（日大）、▼60kg 級 小島豪臣（日体大）、▼66kg 級 佐藤吏（早大）、▼74kg 級 加藤陽輔（日体大）、▼84kg 級 松本真也（日大）、▼96kg 級 坂本憲蔵（日本文理大）、▼120kg 級 田中章仁（専大）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg 級 和田宗法（日体大）、▼60kg 級 福間道元（日体大）、▼66kg 級 江藤紀友（拓大）、▼74kg 級 鶴巻宰（国士舘大）、▼84kg 級 齋川哲克（日体大）、▼96kg 級 田中章仁（専大）、▼120kg 級 杉浦一生（山梨学院大）

《女子優勝者》▼48kg 級 坂本真喜子（中京女大）、▼51kg 級 甲斐友梨（中京女大）、▼55kg 級 吉田沙保里（中京女大）、▼59kg 級 大島貴子（福岡大）、▼63kg 級 島田佳代子（日大）、▼67kg 級 新海真美（中京女大）、▼72kg 級 村島文子（中京女大）

◇全日本学生王座決定戦（10月7日、東京・駒沢体育館）=決勝成績

日大○ [5 - 2] ●日体大

※日大は2年連続9度目の優勝

◇国民体育大会（10月24～27日、埼玉・新座市民総合体育館、志木市民総合体育館）

《成年フリースタイル優勝者》▼55kg 級 杉谷武志（埼玉・自衛隊）、▼60kg 級 山

本英典（埼玉・自衛隊）、▼66kg 級 鈴木崇之（京都・立命館大）、▼74kg 級 鈴木豊（埼玉・自衛隊）、▼84kg 級 横山秀和（秋田・秋田商高教）、▼96kg 級 小平清貴（東京・警視庁）、▼120kg 級 田中章仁（福岡・専大）

《成年グレコローマン優勝者》▼55kg 級 村田知也（滋賀・日野高教）、▼60kg 級 柳川育廣（群馬・群馬大教）、▼66kg 級 飯室雅規（埼玉・自衛隊）、▼74kg 級 菅太一（東京・警視庁）、▼84kg 級 谷口周平（埼玉・自衛隊）、▼96kg 級 太田宣明（埼玉・自衛隊）、▼120kg 級 加藤賢三（埼玉・自衛隊）

《少年フリースタイル優勝者》▼50kg 級 入江淳史（栃木・足利工大付高）、▼55kg 級 紋谷哲平（茨城・霞ヶ浦高）、▼60kg 級 大沢茂樹（茨城・霞ヶ浦高）、▼66kg 級 宮原崇（秋田・秋田商高）、▼74kg 級 大月葵斐（大分・日本文理大付高）、▼84kg 級 浅見哲郎（埼玉・埼玉栄高）、▼96kg 級 木暮僚太（茨城・霞ヶ浦高）、▼120kg 級 荒木田進謙（青森・光星学院高）

《少年グレコローマン優勝者》▼50kg 級 田口敏生（大阪・大阪市立高）、▼55kg 級 倉本一真（滋賀・日野高）、▼60kg 級 米満達弘（山梨・韮崎工高）、▼66kg 級 倉谷修平（山梨・韮崎工高）、▼74kg 級 門間順輝（秋田・秋田商高）、▼84kg 級 矢野将章（奈良・広陵高）、▼96kg 級 工藤真樹（秋田・秋田商高）、▼120kg 級 茂村稔（熊本・玉名工高）

#### ◇全国社会人オープン選手権（11月13～14日、東京・スポーツ会館）

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg 級 足立竜一（自衛隊）、▼60kg 級 井上真一（警視庁）、▼66kg 級 黒田清志（自衛隊）、▼74kg 級 本名栄仁（新潟・巻総合高教）、▼84kg 級 太田充洋（大分県協会）、▼96kg 級 長岡裕（松阪クラブ）、▼120kg 級 秋葉洋一（自衛隊）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg 級 村上文清（自衛隊）、▼60kg 級 松尾大士（日本文理大職）、▼66kg 級 富谷光雄（自衛隊）、▼74kg 級 川向敦支（自衛隊）、▼84kg 級 太田充洋（大分県協会）、▼96kg 級 長岡裕（松阪クラブ）、▼120kg 級 秋葉洋一（自衛隊）

#### ◇全日本大学選手権（11月18～19日、東京・駒沢体育館）

《優勝者》▼55kg 級 長谷川恒平（青山学院大）、▼60kg 級 高塚紀行（日大）、▼66kg 級 佐藤吏（早大）、▼74kg 級 加藤陽輔（日体大）、▼84kg 級 磯川孝生（拓大）、▼96kg 級 松本真也（日大）、▼120kg 級 田中章仁（専大）

《大学対抗得点》[1] 日大（6年ぶり5回目）、[2] 拓大、[3] 日体大

**◇西日本学生秋季リーグ戦（11月27～28日、大阪・大阪府立体育会館第2競技場）**

《順位》[1] 立命館大（7季連続8回目）、[2] 徳山大、[3] 福岡大、[4] 同志社大、[5] 日本文理、[6] 中京学院大、[7] 桃山学院大、[8] 近大

**◇東日本学生秋季新人選手権（11月28～29日、東京・駒沢体育館）**

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 富田和秀（大東大）、▼60kg級 菊池憲（日体大）、▼66kg級 藤本浩平（拓大）、▼74kg級 桜井浩二（拓大）、▼84kg級 鶴巻宰（国士大）、▼96kg級 山県養一（日大）、▼120kg級 竹内勝信（国士大）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 稲葉泰弘（専大）、▼60kg級 松本隆太郎（日体大）、▼66kg級 藤山慎平（日体大）、▼74kg級 伊藤啓太（拓大）、▼84kg級 鶴巻宰（国士大）、▼96kg級 斎川哲克（日体大）、▼120kg級 高橋信一（日大）

**◇全日本大学グレコローマン選手権（12月9～10日、東京・駒沢体育館）**

《優勝者》▼55kg級 湯元進一（拓大）、▼60kg級 福間道元（日体大）、▼66kg級 江藤紀友（拓大）、▼74kg級 吉田毅（日体大）、▼84kg級 鶴巻宰（国士館大）、▼96kg級 田中章仁（専大）、▼120kg級 丸山秀樹（東農大）

《大学対抗得点》[1] 日体大（5年ぶり12回目）、[2] 拓大、[3] 国士館大

**◇天皇杯全日本選手権（12月21～23日、東京・代々木競技場第2体育館）**

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 松永共広（総合警備保障）、▼60kg級 小島豪臣（日体大）、▼66kg級 池松和彦（日体大助）、▼74kg級 小幡邦彦（総合警備保障）、▼84kg級 磯川孝生（拓大）、▼96kg級 小平清貴（警視庁）、▼120kg級 田中章仁（専大）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 平井進悟（総合警備保障）、▼60kg級 笹本睦（総合警備保障）、▼66kg級 飯室雅規（自衛隊）、▼74kg級 鶴巻宰（国士大）、▼84kg級 松本慎吾（一宮運輸）、▼96kg級 森角裕介（長野県協会）、▼120kg級 新庄寛和（国士大）

《女子優勝者》▼48kg級 坂本真喜子（中京女大）、▼51kg級 坂本日登美（和光ク）、▼55kg級 吉田沙保里（中京女大）、▼59kg級 中西はつみ（中京女大大学院）、▼63kg

級 伊調馨 (中京女大)、▼67kg 級 斉藤紀江 (ジャパンビバレッジ)、▼72kg 級 浜  
口京子 (ジャパンビバレッジ)